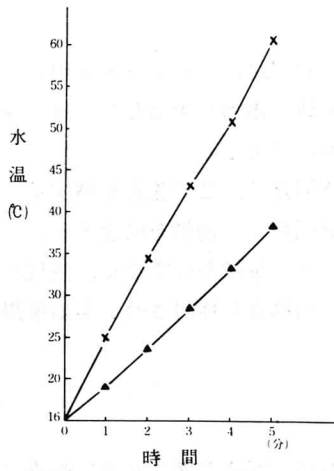
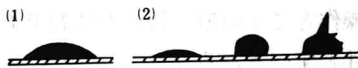


TP-6 回路別水温差



TP-7



TP7

このTPは、はんだ付けの良否を判する手がかりになるものである。

(1)はよい例である。山があり、すそ野がなめらかに流れていることが大切である。

(2)は、悪い例である。左側は、はんだ不足、中央は熱不足、右側は過熱である。

よいはんだ付けは、はんだ、こて先の形状、加熱温度にかかわっているとされている。

3. 指導場面に即した活用例

(1) ダイオードのしくみとはたらきを理解させる例 (中学校技術・家庭)

- ① 期待される効果 ダイオードに順方向や逆方向に電圧を加えたとき、電流の流れはどうなるか、そのしくみを理解させる。
- ② 使用学年 中学校第3学年
- ③ 題材名 ダイオードのしくみとはたらき
- ④ TPの内容

T	P	活用のしかた・留意点
<p>TP1-1</p> <p>ダイオードのしくみ</p>		<p>TP1-1</p> <p>1. モデル</p> <p>P形, N形半導体の接合形ダイオードの構造を模型的に示した。PN接合という。</p> <p>P形——電子の不足——ホール——プラス</p> <p>N形——電子の過剰——自由電子——マイナス</p> <p>2. 大きさ等</p> <p>60×120mmの長方形で、中央に破線を黒でかく。底辺はシートの中央より少し下るようにし、左右は同一間隔とする。ホールなどは8φ内外とし、P形はオレンジ、N形は紫色で区別する。</p>